

園だより 1月

起きよ、光を放て、あなたを照らす光は昇り　主の栄光はあなたの上に輝く。
イザヤ書 60 章 1 節

「えがおあふれる　いちねんになりますように」

昨年よりは穏やかに明けた新年がありました。人の流れもコロナ禍前のようになりつつあるように感じます。それぞれに必要な感染対策を怠ることなくではありますが、ウイルスに怯えることなく子どもたちとの豊かな生活が守られますことを心から祈ります。

年末の片付けをしながら、新年にぜひ、保護者の皆様にご紹介したい倉橋 惣三先生の短い文章に出会いました。

驚く心

おや こんなところに 芽が ふいている。

畠には、小さな豆の若葉が、えらい勢いで土の塊を持ち上げている。

藪には 固い地面をひび割らせて、ぐんぐんと荀が突き出してくる。

伸びていく蔓のなんという速さだ。竹になる勢いのなんというすさまじさ。

おや この子に こんな力が・・・・・

あっ あの子に そんな力が・・・・・

驚く人であることに於いて、教育者は詩人だ。

驚く心が失せた時 詞も教育も 形だけが美しい殻になる。

(1931年 「幼児の教育」 第31巻、第4号)

私たち保育者は、幼児期だからこそその成長の芽吹き、小さくてささやかな芽吹きをも見落とすことなく、水と養分をたっぷりと注ぎ、2023年も各々が伸びやかに枝を張り続ける幼稚園の生活を整え守りたいと心新たにしております。子どもたちの溢れる「力」に「驚く人」であり続けます。よろしくお願ひ申し上げます。

園長 駿河 幸子